

# Mランドニュース Vol.187

## 丹波ささ山校 令和4年11月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569  
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹  
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

### 今月の言葉

小さいことを積み重ねるのが、  
とんでもないところへ行くた  
ひとつの道だと思っています。

イチロー

### 皆さまに寄りそう

教習チームリーダー

前川 昂希

夏休みや春休みには大学生が数多くMランドにお越しになります。

そのほかの時期には社会人の方々がお越しになられるのが、「高齢者講習」を受講される七十歳以上の方々です。

受講される皆さまは、大変緊張されますので、できる限り緊張を和らげながら、日々の講習に臨んでいます。



連日たくさんのお受講者がお越しです

そんな皆さんにご不便をおかけしているのが、階段の上り下りで、弊社の教室は、すべて二階にあるため、受講される方々にも階段を利用していたかなければなり

ません。教室に上がる時、コースを下りるとき、お帰りになるとき、決して緩やかとは言えない階段を、二往復していただくのはならず、少しでもご負担を減らすため、元来あった手すりよりも、低い位置に新設しました。



環境課の黒木さんお手製の手すり

数日経ったある講習日、三年前に来所された方が再び受講され、手すりが新設されていることに気付かれ、「ありがとうございます、このまえ来たときよりも、階段の上り下りが安心できたよ」と、おっしゃってくださいました。



「ゆっくり下りてくださいね」

丹波篠山の大自然に囲まれて生活している私たちにとって、自動車や原動機付自転車の運転は、大切な移動手段のひとつです。

より長く、安全で快適に運転をしていただけのように、これからもさまざまな面で相手の立場に立ち、寄り添いながらサポートを続けてまいります。

### 満点合格をめざして

管理者 永見倫幸

日ごとに秋が深まり、朝晩は肌寒さを感じる季節となってきました。

今年の夏も多くのお客様にお越しいただき、感謝申し上げます。

Mランドでは入所されるゲストへ必ずお願いすることがあります。

それは、「学科テストは満点を取ってください」です。

運転免許を取得するためには、運転技術と道路交通法の知識が必要になります。いくら運転技術が優れていても、ルールやマナーを理解できていなければ、安全な運転はできません。

正しい知識を持ち、譲り合いや相手の立場に立った運転をすることが、何より大切だと考えます。すなわち「満点の知識」と「思いやりの心」を持って、ドライバーとしての一歩を踏み出していたいただきたいというのが私たちの願いです。

ゲストの最初の目標は仮運転免許の取得で技能検定と学科試験があり、まずは仮免許の学科試験で満点合格をめざしていただきます。

ゲストにお渡しする教習スケジュール表にはテスト練習、「テ錬」という自習の時間を設定し、入所時にお渡しする宿題や、ロビーに常設している問題集などを使って勉強をしていただいています。



私たちが皆さんの頑張りを応援します！

テスト練習の時間、ロビーは静まり返り、聞こえるのは

ペンとペー지를めくる音のみ。皆さん集中して勉強をされておられ、フリーの時間でも、閉館間際までも、ロビーで熱心に勉強されているようすは、新しく入所されたゲストに次々と受け継がれています。

そんなゲストの頑張りにより、九月の仮免許学科試験の合格率は一〇〇%。受験者全員一発合格でした。

満点で合格をされ喜ばれる方もあれば、合格でも満点が取れなくて悔しがらる方、これまでの努力があるからこそ、さまざまな感情が生まれます。



「満点合格!」、「笑顔満点!」

同じ目標を持った仲間たちとともに学び、努力したこととは一生の思い出となることでしょう。卒業後、本免許学科試験に向けても、「満点」合格を目指してください!

## 趣味 山登り!!

顧客チーム 佃 直人

山が好きだ。山登りが趣味です！ウソです(笑)。

本日は山頂で景色を眺めながらコーヒーを飲むのが至福の時間というだけなのです。

もともと私は急げ者で、ぐうたら人間で、歩くのさえも面倒くさく、できることなら家でカーテンを閉めたまま、薄暗い部屋で映画でも観ていたい人間なのです。

でも、体重が八十五キロになった時、痩せるためにウォーキングを始めました。

あちらこちらへと、雑誌に載っているウォーキングコースを基に街を探索し、その土地々々の美味しいものを食べるという文字通りの「食べ歩き」が趣味と変わってしまいました。

この健康のためのウォーキングとは言い難い、私のウォーキングでは痩せることなく月日だけが流れていきました。

「これでは良くない」と思い、少しハードな運動量を求めて山登りを始めたのです。

しかし、ハードな運動をする、食事がおいしくなり、食べる量は減ることなく、またこれ

だけ運動したのだから、これくらいは食べても大丈夫と、罪悪感なく余計に食べてしまい、一切痩せることなく今に至っております(笑)



山頂でこの雄大な景色をながめながら！

そんな折に友人が、持ってきたエスプレッソマシンにコーヒーの粉を入れてお湯を沸かし、一杯のコーヒーをご馳走してくれました。

これまでは、山に登って下りただけでしたが、このコーヒーを飲みながら景色をみると、一瞬時間が止まったかのような気分になり、満足感に浸っている自分がそこにいました。男性の私の心が癒やかになっているようにも感じました。

今では、このコーヒーのために、山に登っていると言っても過言ではないと思うくらいです。

これからは痩せるためにも本当の趣味の「食べ歩き」ではなく、純粋に「歩く・登る・走る」とい

う運動に重きをおいていきたいと思えます。

でも、食べることは止められないので、しっかりと歩いてほどほどに食べていく方向でいこうかなと思います。

デブ活一辺倒だった私にさようなら。

引き締まった私の体に乞う「ご期待!!」。(笑)

## こんなに楽しいモノはない

顧客チーム 能登 康一

若かりし頃、趣味もない私を、親友がバイクレースに誘ってくれ、そこで見たバイクの速さやバンク角に感動し、これがキッカケとなり、バイクレーサーになりたいと思いい、レースに明け暮れました。



当時、バイクレースに全力を注ぎました

見よう見まねで思いっきり走りたいという気持ちはあっても、

当時は転倒も多く、「速く走る」など夢のまた夢でした。幸い大きなケガもなく、転倒を繰り返しながらに速くなり、有名なチームからのお誘いもい

ただけるようになり、すっかりバイクに魅了されました。

その後、アクシデントもあり、レースからは遠ざかりました。が、「バイク関係の仕事であれば、何でもい」と思ったこともあり、二輪教習の指導員になりたいという思いが湧いてきました。

最初の教習所では資格を取る機会がなく、ようやくMランドで二輪教習指導員資格を得る機会を得ました。

指導員になっても「人に教える」というのは難しいものであり、なかなか伝わらない、上手く教習することができなかつたりと、長い年月を要しましたが、さまざまなゲストと接することで、そのゲストに応じていろいろな角度からの説明や、指導のコツを掴み、インストラクターとしての幅も広がったように思います。

ゲストの皆さんも二輪免許を取得する思いはそれぞれお持ちですが、予想以上に車体が重かったり、操作が難しかったり、または転倒など苦難も多いかと思えます。

しかし、教習で得た技術や知識は、自分のバイクに跨ったとき、その喜びは計り知れず、自ら計画しツーリングへ出かけ、すれ違うバイクに手を振り、気温や風を体で感じるなど、バイクとの一体感を楽しみながら走るのには、四輪自動車では体感することのできない爽快感があります。



「安全」と「楽しさ」を！(右)能登 INS

夏の暑さや冬の寒さ、雨風の冷たさに加え、ヘルメットの中に虫が飛び込んできたり、あるいはコケそうになったりするなど、悪戦苦闘する一面もあります。なので、バイクに乗らない方から「そんな思いをして何が楽しいのですか?」と言われたことがあります。

そのとき「バイクに乗ればわかりますよー」とニコニコお応えしました。

私の愛車も手間ひまかけて乗りやすいように整備し、ツーリングやキャンプに出かけたり、

私の人生には欠かせないものになっています。

あるテレビ番組で、バイク好きのタレントが「バイクに乗らない人は決して損はしていない。けれど、バイクに乗る人は得をしている」と言われており、思わず納得。私自身は上手くなるために試行錯誤し、成長に繋がる楽しい乗り物であると感じます。

皆さんもバイクに乗ってみませんか? 違った世界が見えますよ!!

## 編集後記

毎朝、職員が「朝活」で社内を磨いています。

十月、私の朝活は周辺道路の雑草を掃除。きれいにすると次は隣接する用水路の汚れが気になり、壁面のコケと土砂を汗だくで除去。淀んでいた空気もスッキリしました。(徹)

## 【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にゴミ拾いをしましょう。

11/6(日) Mランド周辺  
AM8:00~9:00 担当:大澤

11/26(土) Mランド周辺  
AM8:00~9:00 担当:前川

※当日はMランド集合です。(雨天中止)  
ご参加いただける方は井本までご連絡ください。